

鹿島臨海工業地帯と夜景



(表紙写真提供：神栖市観光協会)

神栖市から鹿嶋市に広がる鹿島臨海工業地帯は、日本最大級のコンビナートとして知られています。

この工業地帯の開発は、高度経済成長期に全国で港湾取扱貨物量が激増したことを受け、新たな港湾建設地を求めていた国と、鹿島地区開発を推進する茨城県の方針が合致したことで実現しました。

昭和40年から始まった整備事業は、10万t級の大型船舶が入港できる掘込式港湾を中核に、2,000haの工業地帯、330haの商業地帯、4,000haの住居地帯の造成を掲げた一大国家プロジェクトでした。

現在、鹿島臨海工業地帯は、石油化学、鉄鋼、飼料、木材など約160の企業が立地し、約22,000人が働いています。また、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（穀物）にも選定されました。

工業地帯の中央部には港公園が設けられ、公園中央にそびえ立つ高さ52mを誇る展望塔からは、世界各国の船舶でにぎわう「国際貿易港」を一望することができます。光り輝く幻想的な工場の夜景や明け方の景色は、工場ファンならずとも必見です。

また、公園に隣接する船乗場からは、観光遊覧船「ユーカー号」が発着しています。船上で潮風を感じながら眺める巨大タンカー船や世界最大級の掘込式港湾、数々の工場群の景色は

圧巻の一言です。

ご家族・ご友人とともに、太平洋に面した日本を代表する工業生産拠点・鹿島臨海工業地帯をお気に入りの角度でカメラのフィルターに収めてみてはいかがでしょうか。



◆住所：茨城県神栖市東深芝10（港公園）
アクセス：【車】東関東自動車道潮来ICから約20分
【電車】JR鹿島線鹿島神宮駅
※最寄駅からタクシー 15分程度

展望塔開館時間：午前8時30分～午後5時
(1月1日のみ午前6時～午後5時)